

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>今の社会情勢で通信事業がいかに大切かということはだれでも感じていることと思います。 民間の会社で国からの介入なしにした方がいいという意見もありますが、私はまず国が中心になって進めて行くべきだと思います。 NTT ドコモは今もって年老いた父の住む地域には携帯電話の電波が入りません。 それに比べて国が進めているケーブルテレビは、私たちの住んでいる町よりも早く普及し、老後の楽しみであるテレビを身体を休めるのと同時に憩いの時間としてゆったりと過ごしています。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>これが、民間ならば、まず街から始めて、効率の悪い山間地域などは最後になることでしょう。 国が率先して始め、民間がそれに参加して価格競争を行い、よりよいサービスを行うことで国の価格も下げざるを得なくなると思います。 そうすることで、一般国民には安く快適なものを手に入れることが出来ると思います。 田舎に年老いた両親を残し街で働いている息子や娘にとって、やはり両親の健康と安全は常に心の片隅から離れない問題と 思います。 光通信を網羅し、発展させることによりその不安や心配を少しでも少なくしてくれたらいいと思います。</p>